

カナダの思い出（1）

及川 洋

平成6年3月1日から同年12月31日までの10ヵ月間、文部省の在外研究員としてカナダのバンクーバーにあるブリティッシュ・コロンビア大学（The University of British Columbia、以下UBCと略す）に研究滞在する機会を得た。甥テクノ長谷の今は亡き天間氏からは、カナダに行ったらその近況を「大地」にシリーズで寄稿するよう命令されての渡航であった。しかし、渡航後、ほぼ1ヵ月後に訃報が届いた。八戸工業大学の諸戸先生からの国際電話であった。天間氏とは土質工学会東北支部の仕事で古くからの付き合いであり、東北地方における泥炭地工事調査研究小委員会においては幹事長を務めていただき、また、「東北地方における泥炭地工事事例集」の発行（平成4年10月）に当たっては編集事務局を勤めて頂いた。

「天間氏を偲んで」と題してカナダから第一報を寄稿するつもりであった。しかし、この種の文章は書くのに億劫で、ついつい今日になってしまった。新鮮味に欠ける報告となるが、天間氏との約束を果たすため、2～3回のシリーズでカナダの見聞録（思い出）を報告させて頂きたい。

1. バンクーバー

世界で最も美しく、かつ住み良い町のひとつと言われるだけあって、バンクーバーには日本人も含めて世界各国から数多くの人々が移り住んでいた。観光客もけた外れに多く、町の中には、日本語、中国語、ハングル語、その他の国の言語の看板を沢山見ることが出来る。

樺太とほぼ同じ北緯50度にありながら、日差しは結構強く、3月初めには桜が咲き始め、5月の始め頃まで入れ替わり立ち替わり各種の桜が咲いていた記憶がある。帰国して知ったことであるが、3月始めの日本は、まだどこにも桜は咲いていない。

夏は爽やかで夜の10時頃まで明るい。夕方6時頃でも太陽はかなり高いところにある。夕食後はサイクリングや散歩、バレーボールなどを楽しんでいる人が多い。ゴルフの好きな人は仕事を終えてから十分プレー出来る時間がとれる。この時期、上半身裸になる人が多く、結構良い目の保養になる。治安は日本の大都会よりは遥かに良い。秋の紅葉は日本より素晴らしいものがある。木の葉の大きさは日本との比ではなく、落ち葉の量は桁はずれに多い。スポン

ジの上を歩くようになる。

冬は夏とは逆で、夕方4時過ぎには暗くなる。この時期は毎日のようにしとしと雨が降るが、雪は滅多に降らない。秋田などよりは遥かに住み良い。

バンクーバーでは日本食や日本の品物を手に入れるのに殆ど不自由を感じない。新聞も衛星で送られてきたものをリアルタイムで読める。ラジオは土・日を除いた昼時間帯に、テレビは木・土の夜に日本語放送がある。海産物は日本も輸入しているだけあって、豊富で新鮮である。寿司などは日本で食べるより美味しく、かつ、日本より安い。

2. UBC

Facts and Figures at UBC'94によれば、UBCは12の学部の中に100以上の学科や各種研究施設などを持つカナダではトロント大学に次ぐ2番目に大きい大学である。キャンパスの広さは403ヘクタール。とてつもなく広い。これは野球場や陸上競技場、山崎、住吉、田中の公務員宿舎をも含めた秋田大学手形キャンパス全体の約20倍強の広さである。キャンパスの中にはニトベ・ガーデンと呼ばれる新渡戸稲造を記念した日本庭園や大阪万国博のサンヨー館を運んできて再建したアジア図書館、先住インディアンのトーテンポールや民芸品などを展示した民族学博物館、世界でも最大級の規模を誇るサイクロトロン装置、散策

するだけでも半日以上はかかる広大な植物園、さらには18ホールを備えたゴルフ場までである。このキャンパスはさらに800ヘクタールに及ぶPacific Spirit Regional Parkに囲まれており、それはそれは緑豊かな広大なキャンパスである。

学部学生25,199名、大学院生6,427名。もともと移民の国だけあって、学生はカナダ国内だけではなく、世界各国から集まっている。キャンパス内の国際色豊かなことは日本では味わえない光景である。

キャンパス中央やや北側に建つ鉄筋コンクリート22階建てのビル3棟は独身者用の学生寮で、ベッド数4,468を誇っている。これより南に約1km位のところには、主に妻帯者用の学生アパートがあり、ここにも世界各国からの学生が集まっている。その数は531世帯分にのぼる。それと接して、我々のような外国人研究者用の専用アパートがあり、その数は258世帯分にのぼる。ここにも世界各国からの研究者が集まっており、居ながらにして世界各国の人と友達になることができる。キャンパス内のこれらのアパート群は数の上でも、また面積的にも一つの大団地を形成しており、その規模は世界一とも思われる。

次回へ続く。

(秋田大学 土木環境工学科)